



© 2019 A.Kad

武将の美学ここにあり

戦陣を指揮する武将にとって武器・武具は、戦うための実用品であると同時に、自らの存在をアピールするファッションアイテムでもありました。武将たちは、武器・武具の使い勝手のみならず、その美しさにも気を配ったのです。

江戸時代に八代城主をつとめた松井家には、五百点を超える武器・武具が伝来しています。これらの中には、平安時代末期から室町時代にかけて製作された姿の美しい刀剣、種々の材料や技法を駆使した肥後拵、蒔絵をほどこした豪華絢爛な馬具、兎の耳を模したユニークな形の兜、細川三斎流として名高い洗練されたデザインの甲冑などが含まれており、当代武将たちの美意識の高さがうかがうことができます。

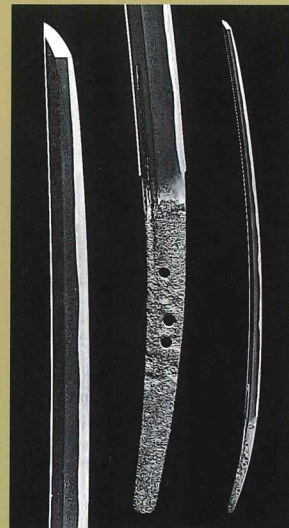
本展では、松井家に伝来する武器・武具とそれに関わる絵画・古文書など約百点を展示します。

※本展は、令和二年の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で中止となったため、本年あらためて開催するものです。

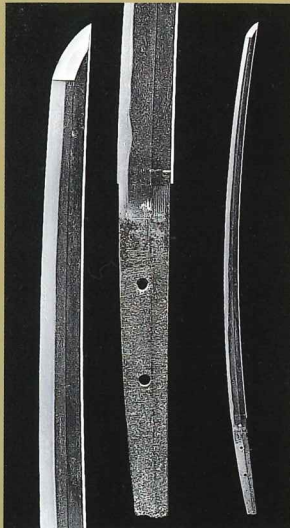
名物「松井江」を納めていた拵
朱塗鞘打刀拵 江戸時代(17世紀)



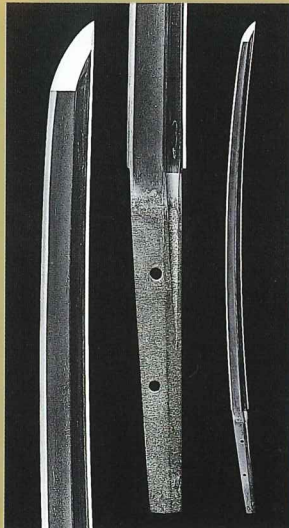
騎馬戦に適した腰反りの太刀
太刀 無銘 宗近 平安時代(12世紀)



実用と美しさを兼ね備えた刀 国指定重要文化財
刀 無銘 雲生 鎌倉時代(14世紀)



備中の名工「青江」の名刀 重要美術品
刀 無銘 青江 南北朝時代(14世紀)



宮本武蔵の指料として伝わった拵の写
溜塗鞘打刀拵(武蔵拵) 江戸時代(19世紀)



細川三斎流の具足
栗色革包胴細糸射向紅糸威具足 江戸時代(17世紀)



細川三斎流の具足
伊予札縫延革包胴具足 江戸時代(18世紀)



豊臣秀吉から拝領 兎の耳を模した兜
銀箔押尖笠形兜 桃山時代(16世紀)



特別講演会

5月1日(土) 14時~15時30分

演題:「松井家伝来の武器と武具」

講師:林 千寿(当館学芸員)

博物館講義室にて 聴講無料

※電話による事前申し込みが必要です

■定員 30名(申し込み先着順)

■申込先 TEL(0965)34-5555

■申込期間 4月1日(木)~ 定員に達し次第締め切ります

■受付時間 9時~17時

※写真の作品はいずれも松井文庫所蔵

【交通のご案内】

JR 鹿児島本線・肥薩おれんじ鉄道八代駅下車3km
九州新幹線新八代駅下車6km

バス 八代駅・新八代駅西口から「検察庁・法務局・市博物館前」
「北荒神町福祉センター前」「八代市役所前」いずれかのバス停下車

車 八代ICから八代港線に入り、田中西町交差点を左折(南下)
松浜軒前交差点を右折すぐ ※大型バス4台、普通車40台駐車可

八代市立博物館未来の森ミュージアム

〒866-0863 熊本県八代市西松江城町12-35 TEL0965-34-5555・FAX0965-33-9200

博物館ホームページ <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/>

新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で実施します。ご来館の際は、マスク着用、ヘルスチェックシートへのご記入など感染防止対策にご協力ください。入館人数が上限に達した場合、入場を制限することがあります。

